

プログラム 大会2日目 3月16日(日)

第1会場 (1階・G1 + G2)

シンポジウム 15

8:50 ~ 10:20

目指すのは二刀流「テレフォンフォローアップ × アプリ」

～懂れるのはやめましょう！今日から患者サポートのトップになるために来たので～

オーガナイザー：坂田 幸雄 (市立函館病院 薬剤部 薬物療法科)

桂 英之 (国民健康保険 小松市民病院 薬剤科)

座長：坂田 幸雄 (市立函館病院 薬剤部 薬物療法科)

桂 英之 (国民健康保険 小松市民病院 薬剤科)

S15-1 テレフォンフォローアップは手軽にできる有用な患者サポート！

坂田 幸雄 (市立函館病院 薬剤部 薬物療法科)

S15-2 アイン薬局桑園駅前店における電話による服薬フォローアップの取り組みと今後の課題

糸井 陽介 (株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 桑園駅前店)

S15-3 テレフォンフォローアップを活用した薬薬連携の深化

鈴木 直哉 (ナカジマ薬局 薬局事業部)

S15-4 アプリは最強のメリットがある有用な患者サポート！

桂 英之 (国民健康保険 小松市民病院 薬剤科)

S15-5 患者も医療者も忙しい？そんな時こそ使えるアプリ活用術

安部 圭紀 (山形大学医学部附属病院 薬剤部)

S15-6 かゆいところに手が届く！？薬局でのアプリ活用術

田橋 美佳 (薬樹薬局 三ツ沢)

特別講演 3

10:30 ~ 11:10

座長：山田 裕之 (国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院 薬剤部長)

SL3 次世代医療への貢献 - 薬剤師の職能と責務 -

武田 泰生 (日本病院薬剤師会 会長)

教育講演

11:20 ~ 12:00

座長：遠藤 一司 (北海道薬剤師会 副会長)

EL 神奈川県のがん対策

津島 志津子 (神奈川県健康医療局 がん・疾病対策課 課長)

ランチョンセミナー 10

12:20 ~ 13:20

多職種連携を踏まえた転移性尿路上皮癌治療の副作用マネジメント

座長：寺田 智祐 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)

LS10-1 尿路上皮癌治療薬の update ～パドセブ + ペムブロリズマブを中心に～

北村 寛 (富山大学学術研究部医学系 腎泌尿器科学)

LS10-2 尿路上皮癌治療薬の副作用マネジメント～多職種連携の重要性と薬剤師の役割～

南 晴奈 (九州大学病院 薬剤部)

共催：アステラス製薬株式会社

シンポジウム 21

13:35 ~ 15:35

今こそ知って欲しい JASPO 認定制度に関わる取り組み

～がん薬物療法認定・専門薬剤師への道しるべ～

オーガナイザー：櫻井 洋臣 (慶應義塾大学病院薬剤部)

縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院薬剤部)

座長：鈴木 真也 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院薬剤部)

縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院薬剤部)

S21-1 日本臨床腫瘍薬学会における認定・専門薬剤師制度の概要

鈴木 真也 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院薬剤部)

S21-2 薬学的介入事例の査読と面接の評価

内池 明博 (日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部)

S21-3 がん診療病院連携研修の紹介

縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院薬剤部)

S21-4 今こそ知っておいて欲しいがん診療病院連携研修のポイント

衛藤 智章 (国立病院機構 九州がんセンター)

S21-5 専門薬剤師として伝えたいこと～薬局薬剤師の立場より～

菅 美佳 (クオール薬局つづき店)

第2会場 (1階・G3)

シンポジウム 16

8:50 ~ 10:20

情報システム標準化が拓くオンコロジー領域の未来

オーガナイザー：花香 淳一 (医療法人社団善仁会 小山記念病院)

青柳 吉博 (国立がん研究センター東病院)

座長：花香 淳一 (医療法人社団善仁会 小山記念病院)

青柳 吉博 (国立がん研究センター東病院)

S16-1 レジメンにおける標準コード：考え方と具体例

佐藤 弘康 (JA 北海道厚生連 網走厚生病院)

S16-2 医療現場でのレジメンオーダリングシステムの課題

山口 健太郎 (佐世保市総合医療センター 薬剤部)

S16-3 RWD を利用した研究における標準化とレジメン情報

高田 敦史 (九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター)

S16-4 レジメン標準化を考えるためのいくつかの視点

小枝 伸行 (八尾市立病院 事務局)

ランチョンセミナー 11

12:20 ~ 13:20

外来でのがん患者ケアの最前線：タスク軽減と身体的・時間的毒性への対策

座長：宮本 康敬 (浜松医療センター 薬剤科)

LS11-1 医療者目線で考える！～ジラスタボディーボッド導入のエッセンスとタスク軽減

石川 雄大 (富山大学附属病院 薬剤部 総合がんセンター)

LS11-2 できることから始めよう！外来でのがん患者の身体的・時間的毒性と負担軽減

鍛治園 誠 (岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院 薬剤部)

共催：協和キリン株式会社

シンポジウム 22

13:35 ~ 15:35

これでいいのか有害事象評価

オーガナイザー：山口 拓洋 (東北大学大学院医学系研究科)

川口 崇 (東京薬科大学 臨床評価学教室)

座長：山口 拓洋 (東北大学大学院医学系研究科)

川口 崇 (東京薬科大学 臨床評価学教室)

S22-1 臨床研究から考える臨床の有害事象評価における PRO 活用

川口 崇 (東京薬科大学 臨床評価学教室)

S22-2 有害事象の評価方法について改めて考えてみる

山口 拓洋 (東北大学大学院医学系研究科)

S22-3 化学療法誘発性悪心嘔吐管理の再考～患者視点を反映した包括的アプローチ～

横川 貴志 (がん研究会有明病院 薬剤部)

S22-4 薬剤師における irAE の有害事象評価の現状と課題

臼井 浩明 (杏林大学医学部付属病院 薬剤部)

S22-5 小児がんにおける有害事象評価

早瀬 朋美 (神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科)

プログラム
3月16日

第3会場 (1階・G4)

シンポジウム 17

8:50 ~ 10:20

薬薬連携、今のままでいいですか？我々が目指すべき『薬薬連携が生み出す患者貢献』を再考する
～ Challenges for the next 薬薬連携～

オーガナイザー：伊藤 剛貴 (草加市立病院 薬剤部)

下川 友香理 (総合メディカル株式会社 薬局事業本部)

座長：伊藤 剛貴（草加市立病院 薬剤部）
本田 雅志（総合メディカル株式会社）

S17-1 東京都における職域団体合同の取り組みと課題 ～がん薬物療法の薬薬連携について～

清水 久範（がん研究会有明病院 薬剤部）

S17-2 薬薬連携で地域が変わった！ ～薬剤師の Next Stage ～

野田 政充（一般社団法人さいたま市薬剤師会）

S17-3 当院には〇〇科がない！弱みを強みに変える薬薬連携～副腎機能低下症患者におけるシックデイ対策を一例に～

新井 隆広（群馬県立がんセンター 薬剤部）

S17-4 副作用による患者脱落を防ごう！久留米大学を起点とした薬薬連携～レンパチニブ長期服用を可能にするために～

津村 紗代（久留米大学病院 薬剤部）

S17-5 レンパチニブ服用患者への電話フォローアップを通じた薬薬連携～専門医療機関連携薬局からの視点～

馬渡 つかさ（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 久留米医大前店）

ランチョンセミナー 12

12:20～13:20

座長：藤堂 真紀（埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部）

LS12 トロデルビのトリセツ ～特徴から導入まで～

橋本 直弥（愛知県がんセンター 薬剤部）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

シンポジウム 23

13:35～15:35

2024 年度 JASPO 海外研修派遣事業報告

～海外派遣事業の取り組みと今後に期待すること～

オーガナイザー：久松 大祐（国立病院機構九州がんセンター）

鈴木 真也（国立がん研究センター東病院）

座長：本永 正矩（広島大学病院 薬剤部）

坂本 靖宜（横浜市立大学附属病院）

S23-1 海外派遣研修事業の取り組みと海外研修を糧に～薬剤師が切り拓く日本の薬剤師教育、がん医療への貢献～

森本 麻友（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部）

S23-2 米国の医療・薬学教育・薬剤師の臨床業務を通して～日本の外来がん化学療法の現在と未来～を考える

大畑 紘一（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

S23-3 米国の薬剤師レジデント教育、臨床試験への薬剤師の関わりから学んだこと、日本のがん専門病院薬剤師の今後と展望

中村 真穂（国立がん研究センター東病院 薬剤部）

S23-4 海外研修を通して学んだ日本と米国の薬剤師の違いと今後を考える～薬剤師の専門性ところについて～

山田 早 (AMG 上尾中央総合病院)

S23-5 国際交流の重要性と本事業への期待

Lisa Modelevsky (New York Memorial Sloan Kettering Cancer Center (MSKCC))

S23-6 これからの海外派遣研修者へ期待すること

久松 大祐 (国立病院機構九州がんセンター)

第4会場 (3階・G303+G304)

シンポジウム 18

8:50 ~ 10:20

薬剤師の持続可能な働き方・キャリア支援の社会実装に向けて

オーガナイザー：土屋 雅美 (慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座)

河添 仁 (慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室 / 慶應義塾大学病院 薬剤部)

座長：土屋 雅美 (慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座)

河添 仁 (慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室 / 慶應義塾大学病院 薬剤部)

S18-1 実務実習と多機関共同研究の経験・学びから考えるキャリアプラン

高橋 佳織 (慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門)

S18-2 専門医療機関連携薬局の認定から見る薬局薬剤師の働き方

大熊 祐美 (株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 板橋店)

S18-3 市中病院における持続可能な働き方とキャリア支援の取り組み

橋口 宏司 (横浜南共済病院)

S18-4 VUCA 時代を生きる薬剤師のキャリアデザイン戦略～自分らしい人生を歩むために～

流石 学 (株式会社メデュアクト / 東京薬科大学 薬学部 生化学教室)

スポンサーセミナー 4

10:30 ~ 11:30

irAE 早期発見、早期対応に重要な薬剤師と医師との連携

座長：吉野 真樹 (新潟県立新発田病院 薬剤部)

SS4-1 チームで切り拓く ICI 治療の未来～薬剤師外来の意義を含めて～

石川 雄大 (富山大学附属病院薬剤部 総合がんセンター)

SS4-2 ICI 最新エビデンスを踏まえて、これからのチームで取り組む irAE マネジメント～薬剤師と考える～

演者：梶浦 新也 (富山大学附属病院 腫瘍内科・緩和ケア内科)

共催：MSD 株式会社

ランチョンセミナー 13

12:20 ～ 13:20

非小細胞肺癌における二重特異性抗体の登場と薬剤師の役割

座長：池末 裕明（名古屋大学医学部附属病院薬剤部）

LS13-1 EGFR 陽性肺癌における治療戦略の最前線：抗体薬の新たな位置づけ

山田 忠明（京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学）

LS13-2 アミバンタマブ治療の副作用管理と患者さんを支える薬剤師の役割

高田 慎也（北海道がんセンター 薬剤部）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

シンポジウム 24

13:35 ～ 15:35

ロボット調剤がもたらすがん医療の未来

オーガナイザー：狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

高橋 俊明（株式会社トモエ トモエ薬局高田店）

座長：狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

高橋 俊明（株式会社トモエ トモエ薬局高田店）

S24-1 医師から見たがん医療における薬剤師の3つの役割～対物業務の効率化で空いた時間をどう使うのか～

狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

S24-2 調剤ロボット導入で見えてきたもの

高橋 俊明（株式会社トモエ トモエ薬局高田店）

S24-3 外来がん治療における保険薬局での対人業務推進の必要性

中村 俊貴（あけぼのファーマシーグループ あけぼの薬局）

S24-4 AI 搭載型調剤ロボットがもたらすがん医療の未来

渡部 正之（株式会社メディカルユアーズロボティクス）

第5会場 (3階・G301+G302)

シンポジウム 19

8:50 ~ 10:20

もう一歩進んだスキンケア

～患者さんが自分らしく生活できるように私たちができること～

オーガナイザー： 縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院)

座長： 縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院)

湊川 紘子 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)

S19-1 がん治療における皮膚障害 (総論)

縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院)

S19-2 お肌の乾燥とスキンケア

稲葉 さやか (花王株式会社 スキンケア研究所)

S19-3 抗 EGFR 抗体薬の皮膚障害マネジメント～ PBPM の導入と実践～

森田 一 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)

S19-4 患者さんが自分らしく生活できるように～「7つの肌悩み」からスキンケアを考える～

藤田 あゆみ (スギ薬局株式会社)

ランチョンセミナー 14

12:20 ~ 13:20

座長： 縄田 修一 (昭和大学横浜市北部病院 薬剤部)

LS14 転移・再発乳癌 薬物療法の副作用マネジメント

酒井 瞳 (昭和大学先端がん治療研究所)

百合草 健志 (静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科)

共催：第一三共株式会社

一般演題 (口演) 7

13:35 ~ 14:35

がん薬物療法 (症例報告) ②

座長： 谷口 亮央 (株式会社ナカジマ薬局)

山本 紗織 (社会医療法人敬愛会中頭病院 薬剤部)

07-01 転移性腎細胞癌に対してカボザチニブによる長期無増悪生存が得られた一例：血中濃度の推移

丸山 真一 (済生会横浜市東部病院薬剤部)

07-02 免疫チェックポイント阻害薬で1型糖尿病を来した3例

荒毛 祐吏美 (済生会熊本病院 薬剤部)

07-03 当院における頭頸部アルミノックス治療症例

井口 麻美 (東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 薬剤科)

07-04 オニバイド®投与時の強い腰背部痛の発現によりレジメン変更に至った一例

塚本 名奈子 (国立病院機構 神戸医療センター 薬剤部)

07-05 アベマシクリブとフルベストラント併用療法の多形紅斑を呈した1例

沢 仁美 (川西市立総合医療センター)

07-06 ゾルベツキシマブ導入にむけての院内体制構築への取り組み

芦崎 雅之 (恵佑会札幌病院 薬剤科)

一般演題 (口演) 11

14:45 ~ 15:45

病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療②

座長：谷口 亮央 (株式会社ナカジマ薬局)

山本 紗織 (社会医療法人敬愛会中頭病院 薬剤部)

011-01 薬剤師診察前問診での介入状況と業務量の変化

黒岩 勇人 (関西電力病院 薬剤部)

011-02 薬局薬剤師が定期的に医療機関主催のキャンサーボードに参加する中でフォローアップより得た情報を基に処方介入を行った1症例

小峰 大典 (総合メディカル株式会社 そうごう薬局 対馬中央店)

011-03 外来がん化学療法への薬剤師の関わり

～がん薬物療法体制充実加算を開始して～

佐野 隆大 (兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部)

011-04 当センターにおける連携充実加算算定の取り組みとその評価

～地域のがん薬薬連携の充実を目指して～

塩川 亜弥乃 (中部国際医療センター 薬剤部)

011-05 薬剤師外来における診察前処方支援システムの構築

香内 綾 (竹田総合病院 薬剤部 薬剤科)

011-06 薬局薬剤師における外来がん薬物療法の医師診察前介入の効果

船橋 理佳子 (クオール株式会社クオール薬局つくば桐の葉モール店)

第6会場 (3階・G312+G313)

シンポジウム 20

8:50 ~ 10:20

がん治療患者への食事の重要性！～食事の大切さを知り、いかにして食べていただくか～

オーガナイザー：高山 俊輔 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)

座長：高山 俊輔 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)

滝澤 康志 (飯山赤十字病院 薬剤部)

S20-1 本シンポジウムの趣旨説明と味覚の観点

高山 俊輔 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)

S20-2 どれを選ぶ？利用者の求める栄養剤とは～栄養剤のフレーバーと嗅覚障害～

森 ひろみ (東京科学大学病院 臨床栄養部)

S20-3 がん患者のエネルギー産生を考える

滝澤 康志 (飯山赤十字病院 薬剤部)

S20-4 病院薬剤師の立場からの多職種連携・事例紹介
大登 剛 (AMG 上尾中央総合病院 薬剤部)

S20-5 保険薬局薬剤師の視点からの栄養に関する情報連携
立澤 明 (アポクリート株式会社)

ランチョンセミナー 15 12:20 ~ 13:20

座長：村上 通康 (松山赤十字病院 薬剤部)

LS15 トレーシングレポートの統一化によるがん薬物療法の均てん化

橋本 浩伸 (国立がん研究センター中央病院 薬剤部)

共催：ファイザー株式会社

一般演題 (口演) 8 13:35 ~ 14:35

がん薬物療法 (症例報告) ③

座長：樋口 昇大 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

前原 央奈 (さくら薬局 自治医大前店)

08-01 HER2 陽性乳がん患者における皮下注射製剤の導入効果

小枝 伸行 (八尾市立病院 事務局)

08-02 膀胱がん患者における抗がん剤治療レジメンの変更に伴う血小板の変動を認めた一例

渡邊 亜矢子 (昭和大学 歯科病院 薬局)

08-03 ゾルベツキシマブ 2 コース目で IR 出現後、前投薬変更し治療継続している 1 症例

花井 誠 (埼玉県立がんセンター 薬剤部)

08-04 Pola-R-CHP 療法時のドキシソルピシン血管外漏出後にリコール現象認めた 1 症例

杉 富行 (明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 臨床薬学)

08-05 腹部放射線治療後のレンパチニブ + ベムプロリズマブ療法再導入にて放射線腸炎のリコール現象が疑われた子宮体癌の一例

永井 大地 (大阪府済生会野江病院 薬剤科)

08-06 外来がん治療専門薬剤師がオンラインによる服薬相談を通して他薬局における外来がん薬物治療患者への介入を支援した症例について

木村 萌美 (総合メディカル株式会社 そうごう薬局水戸店)

一般演題 (口演) 12 14:45 ~ 15:45

調剤・処方監査・リスクマネジメント

座長：樋口 昇大 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

前原 央奈 (さくら薬局 自治医大前店)

012-01 当院の化学療法における PBPM の現状

向井 光一朗 (くまもと県北病院)

012-02 粉砕薬剤への曝露対策への取り組み

鈴木 大介 (日本調剤株式会社 日本調剤名大前薬局)

- 012-03 抗がん剤調製ロボットを用いた DVO 実施時の薬液の無菌性と医療費削減効果
後藤 佳奈 (名古屋市立大学病院 薬剤部)
- 012-04 ペルツズマブ点滴・トラスツズマブ点滴からフェスゴ[®] 配合皮下注の切り替えに伴う調製業務の変化
中川 武史 (金沢医科大学病院 薬剤部)
- 012-05 がん患者における副作用評価と患者指導における薬局内での取り組み
磯崎 弘恵 (日本調剤株式会社 薬剤部 横浜第一支店)
- 012-06 がん薬物療法開始直前の HBs 抗原陽性判明による治療開始遅延への対策
竹本 将士 (名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 薬剤部)

第 7 会場 (4 階・G403+G404)

一般演題 (口演) 5

8:50 ~ 10:20

がん薬物療法(症例報告を除く)④/地域・在宅医療②/医薬品情報・データベース・薬歴管理

座長：菊地 正史 (秋田大学医学部附属病院 薬剤部)

山口 拓洋 (東北大学大学院医学系研究科医学統計学)

- 05-01 がん治療関連心血管疾患発症および治療転帰の実態調査
青木 楓佳 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)
- 05-02 当院の高度催吐性リスク抗がん剤の制吐剤に対する処方支援の取り組み
高木 明子 (吹田徳洲会病院 薬剤部)
- 05-03 ST 合剤による皮疹の出現状況に対する免疫チェックポイント阻害薬の影響
本間 崇正 (刈谷豊田総合病院 薬剤部)
- 05-04 当院における非小細胞肺癌患者へのアナモレリン使用状況
相場 悠樹 (JA 秋田厚生連大曲厚生医療センター 薬剤科)
- 05-05 Atezolizumab 療法と皮膚障害の関係性について
瀧武 清範 (高槻赤十字病院 薬剤部)
- 05-06 FOLFOX および FOLFIRI 療法施行後の好中球減少症に関わるリスク因子の検討
安部 博宣 (大分大学 医学部 附属病院 薬剤部)
- 05-07 外来がん化学療法中の多剤併用に対して在宅訪問薬剤管理指導により支持療法のアドヒアランス向上に寄与した一例
地引 勝 (日本調剤 名市大前薬局)
- 05-08 抗がん薬における医療資源有効活用の一考察
長尾 嘉真 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター)
- 05-09 電子カルテ更改に伴うレジメン管理方法の見直し
田中 晃佑 (国立病院機構 北海道がんセンター 薬剤部)

スポンサードセミナー 5

10:30 ~ 11:30

致命的・難治性 irAE にどう立ち向かうか

座長：藤堂 真紀 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)

SS5 致命的・難治性 irAE の適切なマネジメントのために

峯村 信嘉 (三井記念病院 総合内科)

パネルディスカッション

司会 兼 パネリスト：矢野 琢也 (医療法人 住友別子病院 薬剤部)

パネリスト：藤堂 真紀 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)

峯村 信嘉 (三井記念病院 総合内科)

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 16

12:20 ~ 13:20

ドライバー遺伝子変異陽性肺癌における治療継続を目指した薬剤師の役割

座長：松井 礼子 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

LS16-1 ALK 陽性肺癌の最新の知見 ~ガイドラインを読み解き長期生存を目指して~

善家 義貴 (国立がん研究センター東病院 呼吸器内科)

LS16-2 経口抗がん薬の副作用マネジメントにおける院内連携と地域医療連携

川澄 賢司 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

共催：ファイザー株式会社

一般演題 (口演) 9

13:35 ~ 15:05

がん薬物療法 (症例報告) ④/その他

座長：石井 千博 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

小澤 有輝 (神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部)

09-01 腎機能低下に伴う ST 合剤による高カリウム血症の重篤化を防ぎ、テモゾロミドによるニューモシス肺炎を予防できた一例

米田 武司 (ファルメディコ株式会社 ハザマ薬局 伊丹店)

09-02 維持透析施行中の進行上行結腸癌患者に mFOLFOX6+Bev 療法を施行し、コンバージョン手術に持ち込めた 1 症例

藤田 康介 (菅間記念病院 薬剤科)

09-03 当院におけるフェスゴの運用方法と投与中の患者様の満足度について

下間 誉之 (市立稚内病院 薬局薬剤科)

09-04 「札幌東区がん医療薬剤師研究会」会員施設による薬学生の病院・保険薬局見学プログラムの試み

菊池 健 (勤医協中央病院 薬剤部)

09-05 抗コリン作用薬が発熱性好中球減少症発症に与える影響について：日本版抗コリン薬リスクスケールによる解析

加藤 杏奈 (藤田医科大学病院)

プログラム 3月16日

- 09-06 当院におけるがん薬物療法体制充実加算の算定に向けた取り組み
川崎 棕太 (日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部)
- 09-07 タペンタドール製造中止に伴う処方変更と患者への影響の調査
名和 亜利沙 (がん研究会有明病院 薬剤部)
- 09-08 トイレの抗がん薬汚染への次亜塩素酸水溶液噴霧による除染効果について
熊谷 史由 (東北労災病院 薬剤部)
- 09-09 がん領域における患者サポート・情報収集ツールとしての電子デバイスを用いた患者報告アウトカム (ePRO) の活用方法の検討
後藤 敏也 (磐田市立総合病院 薬剤部)

第 8 会場 (4 階・G401+G402)

一般演題 (口演) 6

8:50 ~ 10:20

がん薬物療法 (症例報告) ①

座長：小澤 有輝 (神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部)
吉越 彩夏 (日本調剤 山手薬局)

- 06-01 パクリタキセルおよびドセタキセルで過敏反応を起こした乳がん患者の一症例
小中 千広 (大阪市立総合医療センター 薬剤部)
- 06-02 大垣徳洲会病院でのアペマシクリブ服用患者の継続状況、副作用状況と薬剤師の介入状況
遠藤 秀竜 (大垣徳洲会病院 薬剤部)
- 06-03 薬物間相互作用を考慮したオピオイドスイッチングにより疼痛改善した 1 例
守田 和憲 (済生会熊本病院 薬剤部)
- 06-04 免疫チェックポイント阻害薬治療中止後に遅発性 irAE1 型糖尿病を発症した直腸がん MSI-High の 1 例
柏木 直人 (みやぎ県南中核病院 薬剤部)
- 06-05 大腸がん化学療法中に発熱性好中球減少症とニューモシスチス肺炎を発症した一例の臨床経過と治療経験
牧 賢利 (国立病院機構 福山医療センター)
- 06-06 カバジタキセルの供給停止に伴い過量充填を考慮した分割調剤で対応した 2 例
伊勢崎 竜也 (亀田総合病院)
- 06-07 地域の他の薬局への情報提供の取り組みについて～アペマシクリブ療法中に食欲不振を発現した患者の実例をふまえて～
藤井 康之 (日本調剤 川越薬局)
- 06-08 トレーシングレポートを用いた情報共有によりがん化学療法による高血圧症に対し保険薬局薬剤師が早期に介入出来た 1 症例
野村 太嗣 (ティエス調剤薬局 矢橋店)

06-09 抗 EGFR 抗体薬投与による低マグネシウム血症に対しマグネシウム含有入浴剤を用いた症例

米良 千春 (日本調剤 中尾薬局)

ランチョンセミナー 17

12:30 ~ 13:20

座長：藤原 季美子 (近畿大学病院 薬剤部)

LS17 「制吐療法それでいいのか？～薬剤師として押さえておくべきポイント～」

田中 裕章 (香川大学医学部附属病院 薬剤部)

共催：大鵬薬品工業株式会社

一般演題 (口演) 10

13:35 ~ 15:05

病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療①

座長：花香 淳一 (医療法人社団善仁会小山記念病院 薬剤部)

吉越 彩夏 (日本調剤 山手薬局)

010-01 のべおかレジメンセミナーの取り組みについて

神菌 奈津子 (宮崎県立延岡病院 薬剤部)

010-02 がん化学療法専用のトレーシングレポート作成による有用性評価

岩田 千奈美 (彦根市立病院 薬剤部)

010-03 連携充実加算の取組みについて

山田 剛 (大分県立病院 外来化学療法室)

010-04 福岡赤十字病院におけるがん薬物療法体制充実加算算定への取組み

福重 昇吾 (福岡赤十字病院 薬剤部)

010-05 当院におけるがん薬物療法体制充実加算算定の取組み

今井 洋志 (東京歯科大学市川総合病院 薬剤部)

010-06 がん化学療法担当薬剤師による薬剤師カンファレンスの取組み

牧原 明秀 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部)

010-07 当院におけるがん薬物療法体制充実加算取得への取組み

前田 哲志 (一宮西病院 薬剤科)

010-08 外来がん薬物療法トレーシングレポートに関する医師・病院薬剤師・薬局薬剤師を対象としたアンケート調査

高木 麻衣 (国立がん研究センター中央病院 薬剤部)

010-09 「がん薬物療法体制充実加算」新設に伴う薬剤師診察前面談の体制整備とその成果

石嶋 麗 (国立病院機構東京医療センター 薬剤部)

第9会場 (4階・G414+G415)

ランチョンセミナー 18

12:20～13:20

座長：矢野 琢也 (住友別子病院 薬剤部)

LS18-1 大腸がん薬物療法 up to date

篠崎 英司 (がん研有明病院 消化器化学療法科)

LS18-2 大腸がん治療において薬剤師が果たす役割

中井 将人 (広島市立広島市民病院 薬剤部)

共催：武田薬品工業株式会社

一般演題（ポスター）

3/16（日）11:40～12:10

がん薬物療法（症例報告を除く）

- P-002 ゼルベツキシマブ 8 時間投与における悪心嘔吐の発現率
藤田 行代志（群馬県立がんセンター 薬剤部）
- P-004F 小児専門病院での造血幹細胞移植時におけるオピオイド鎮痛薬の使用実態調査
芦原 まいか（兵庫県立こども病院 薬剤部）
- P-006 がん患者における胃酸分泌抑制薬投与開始後の急性腎障害に関する自己対照ケースシリーズ研究
鈴木 康介（昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座）
- P-008 PHR アプリケーションによる情報共有が irAE の早期介入に寄与した一例
辻 茉莉香（横浜市立市民病院 薬剤部）
- P-010 乳がんに対するトラスツマブ・ペルツマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ配合剤投与時の注射部位反応に関する後方視的研究
団迫 湊（大手前病院 薬剤部）
- P-012 抗がん薬に伴う末梢神経障害に対するミロガバリンとデュロキセチンの有効性と安全性
松山 卓矢（大垣市民病院 薬剤部）
- P-014 ペメトレキセド投与患者の酵素法と Jaffe 法による腎機能評価と好中球減少のリスク評価の検討
大原 沙織（兵庫県立がんセンター 薬剤部）
- P-016 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ペバシズマブ併用療法における尿蛋白早期発現予測のための調査
西 和哉（石巻赤十字病院 薬剤部）
- P-018 愛媛県立中央病院におけるゼルベツキシマブ（ビロイ[®]）の運用について
西畑 友尋（愛媛県立中央病院 薬剤部）
- P-020 頭皮冷却装置を用いた乳がん周術期化学療法導入後のアピアランスに関する実態調査
鈴木 訓史（国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部）
- P-022 CIPN の評価方法におけるピンチ力測定の有効性の検討
六車 龍介（兵庫県立がんセンター 薬剤部）
- P-024 当院での免疫チェックポイント阻害薬使用患者における免疫関連有害事象の発現率と検査項目の測定実施率の調査
荻野 健吾（旭川赤十字病院 薬剤部）
- P-026 当院のエピルビシン投与乳がん患者における心機能評価の実態調査
脇 由香里（JCHO 四日市羽津医療センター 薬剤部）
- P-028 ペバシズマブ投与における蛋白尿の発現状況等に関する調査
及川 高人（岩手県立二戸病院）
- P-030 当院の術前・術後補助化学療法時の心機能検査実施状況と治療完遂率について
山崎 朋子（栃木県立がんセンター 薬剤部）

- P-032 トリフルリジン・チピラシル+ペバシズマブ併用療法における悪心・嘔吐の発現状況とリスク因子の解析
三好 孝法 (国立病院機構九州医療センター 薬剤部)
- P-034 SGLT2 阻害薬がペバシズマブによる蛋白尿発現までの期間を延長させる可能性を見据えた予備的調査
増島 広幸 (静岡県立静岡がんセンター 薬剤部)
- P-036 当院の薬剤師外来、連携充実加算の現状について
朝岡 裕樹 (西尾市民病院 薬剤部)
- P-038 CHOP-like 療法における口腔粘膜炎に対するポビドンヨード含嗽液の影響
大堀 健史 (滋賀県立総合病院 薬剤部)
- P-040 ゾルベツキシマブを簡便に投与できるようにしたレジメン整備の取り組み
吉澤 寛朗 (東京都立大塚病院 薬剤科)
- P-042 ペグフィルグラスチム皮下注ポディーポッド製剤の使用実態調査
景山 花奈 (飯塚病院 薬剤部)
- P-044 注射抗がん薬治療を行う患者に対する当院薬剤師による外来がん診療支援の実態調査
東 峻平 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)
- P-046 江東病院における免疫関連事象である甲状腺機能低下症発現症例の後向き調査
池田 美咲 (江東病院)
- P-048 大腸がん化学療法におけるペバシズマブ+トリフルリジン/チピラシル療法の治療成績と薬剤師の介入効果
堀口 大輔 (今村総合病院)
- P-050 ゾルベツキシマブ誘発性悪心・嘔吐 (CINV) に対する高度催吐性リスク (HEC) に準じた制吐対策の有有用性評価
南 ひさこ (国家公務員共済組合連合会 斗南病院 薬剤部)
- P-052 がん化学療法実施における安全規定の策定と取り組みについて
大田 哲也 (県立薩南病院 薬局)
- P-054F KELIM 値を用いた進行卵巣癌の予後調査と維持療法選択の検討
遠藤 恵 (JCHO 九州病院 薬剤部)
- P-056 乳がん内服抗がん剤治療患者に対する薬剤師外来フォロー状況調査
高木 淳也 (済生会横浜市南部病院 薬剤部)
- P-058 アセトアミノフェン注射液 30 分投与による解熱効果の評価
生田 和之 (済生会横浜市南部病院 薬剤部)
- P-060F 軽度催吐性リスク化学療法に対する 5HT3 受容体拮抗薬+デキサメタゾンとデキサメタゾン単剤の制吐効果の比較
川満 啓司 (福岡大学 薬学部 薬学科)
- P-062F がん薬物療法を受ける患者の漢方薬の処方実態と推移に関する調査
太田 博暁 (明治薬科大学 薬学部 薬学科 治療評価学研究室)
- P-064F 代謝拮抗薬を用いた外来がん化学療法の安全な実施に向けた薬局薬剤師の役割
工藤 可奈子 (株式会社アインファーマシーズ アイン薬局八戸東店)

- P-066 注射抗悪性腫瘍薬調製時の溶解後温度条件・遮光条件と希釈後最終濃度に関する医薬品情報の実態調査
重村 明香 (横浜市立大学附属病院)
- P-068 薬剤師が主導するゾルベツキシマブ投与フローチャートの作成と運用について
玉田 広明 (総合病院 土浦協同病院 薬剤部)
- P-070 アンスラサイクリン系抗がん薬によるがん治療関連心機能障害における心電図の有用性評価
小島 健一 (茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科)
- P-072F 東京歯科大学市川総合病院における頭頸部癌患者の PCE 導入療法の安全性の検討
沼尻 美樹 (東京歯科大学市川総合病院 薬剤部)
- P-074 診察前薬剤師面談の充実と効率化～ eDIARY システムを活用した情報収集～
都築 竜太 (千葉西総合病院 薬剤部)
- P-076 エンホルツマブ ベドチンの皮膚障害に対するデキサメタゾン予防投与の有用性の検討
今村 有那 (東京医療センター 薬剤部)
- P-078 アパルタミド及びエンガルタミド服用患者における潜在的な薬物相互作用に関する実態調査
松下 尚弘 (国家公務員共済組合連合会浜の町病院薬剤部)
- P-080F HER2 陽性乳癌患者に対する T-DXd 投与における悪心・嘔吐発現状況の実態調査
林田 悠佳 (国立病院機構 東京医療センター 薬剤部)
- P-082 オキサリプラチンによるマウス血管外漏出モデルの皮膚障害における冷電法の有効性の検討
平山 純鈴 (明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 臨床薬学研究室)
- P-084 フェスゴ初回投与後の Infusion reaction 発現のリスク因子に関する検討
齋藤 有華 (大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部)
- P-086 薬局薬剤師が SpO₂ を測定する患者に電話による介入を行うことで、間質性肺疾患の早期発見につながるかを検討する探索的研究
青木 翔太 (ピノキオ商事株式会社ピノキオ薬局中央店)
- P-088F Zolbetuximab を安全に投与するための多職種連携とツール作成
磯村 奈帆子 (防府消化器病センター 防府胃腸病院 薬剤部)
- P-090 当院のオキサリプラチンの血管痛に対するデキサメタゾン混注の実態調査
山口 琴子 (済生会横浜市南部病院)
- P-092 デュルバルマブ + トレメリムマブ + 化学療法の当院での使用実態調査
後藤 柱輔 (札幌南三条病院 薬剤部)
- P-094 内服抗がん剤導入時の動画使用の有用性 ～薬剤師業務効率化と患者アンケート結果～
松浦 雅人 (群馬県済生会前橋病院)

がん薬物療法（症例報告）

- P-096 保険薬局薬剤師の介入によりアベマシクリブの長期服用継続につながった乳がん患者の1例
糸賀 美穂（ファーマシイ薬局 しまね医大前）
- P-098 術後補助 BEP 療法において支持療法への介入を実施し、治療計画の遅延及び抗悪性腫瘍薬の減量なく完遂できた一例
末松 耕輔（佐賀県医療センター好生館）
- P-100 経口モルヒネ開始後、尿閉となりフェンタニル貼付剤へのスイッチング後に改善した1症例
田中 祐介（自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部）
- P-102 エンコラフェニブ+ビメチニブ投与中の大腸癌患者へ薬業連携によるフォローアップを行い漿液性網膜剥離の発見に繋がった一症例
石川 遥介（望星鶴見薬局）
- P-104 演題取り下げ
- P-106 フチバチニブの有害事象に対する薬学的介入
藤本 真規子（名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院）
- P-108 I C I 使用中の患者の訴えに対し、トレーシングレポートを契機に SIADH の治療につながった一症例
安齋 沙織（日本調剤 宮城野原薬局）
- P-110 エプコリタマブ投与によるサイトカイン放出症候群の重篤化リスク因子の検討
吉富 加奈子（川崎市立 川崎病院 薬剤部）
- P-112 高用量メトトレキサートの排泄遅延にエロピキシバットが関与した可能性がある1例
南雲 昭人（順天堂大学 医学部 附属静岡病院）
- P-114 進行再発膀胱癌に対して GEM+nabPTX 療法と mFOLFIRINOX 療法後に急性膀胱炎を発症した一例
稲田 佑亮（横浜労災病院 薬剤部）
- P-116 オキサリプラチン誘発血管痛の軽減に向けた薬局薬剤師と病院薬剤師の連携
福本 佑希（株式会社アインファーマシーズ アイン薬局福山御幸店）
- P-118 エンホルツマブ ベドチンによる末梢性感覚ニューロパシーに対し、薬局薬剤師の介入が疼痛スコア改善に寄与した一例
肥田 佑実（フロンティア薬局小浜店）
- P-120 化学療法誘発性末梢神経障害「CIPN」患者への交番磁界治療器エイト導入による経過報告
植田 美希（新松戸中央総合病院）
- P-122 オシメルチニブによる早期中毒性皮疹出現に対し減感作療法を試み治療継続が可能となった1症例
松原 重征（長野県立木曽病院 薬剤部）

- P-124 地域の医療機関との連携によりセルメチニブの相互作用の回避を図った症例
吉川 麻里子(日本調剤 広大前薬局)
- P-126 初発膠芽腫術後の放射線化学療法 (Stupp レジメン) 中に疥癬を発症した高齢患者の1例
廣瀬 健一 (国立病院機構 千葉医療センター 薬剤部)
- P-128F 1年目薬剤師が、CAPOX 療法を行う大腸がん患者に対してかかりつけ薬剤師を取得し、治療完遂をサポートできた1症例
高倉 浩平 (溝上薬局 木原店)
- P-130F オラパリブによる偽性腎障害と推察された卵巣癌の2例
永沢 峻之介(つがる総合病院 薬剤部)
- P-132 HER2 陽性乳がんに対してフェスゴ[®]へ変更後に皮膚障害を生じボルヒアルロニダーゼ アルファの影響が疑われた1症例
海野 祥生 (済生会横浜市南部病院 薬剤部)
- P-134 ペムブロリズマブ投与中にぶどう膜炎をきたした転移性乳癌の一例
田頭 尚士 (岡山医療センター 薬剤部)
- P-136 当院におけるエブコリタマブによる治療経験とその副作用発症状況について
助畑 歩 (札幌北楡病院 薬剤部)
- P-138 がん化学療法における遅発性の下痢に食事改善が著効した一例
吉田 英晃 (杏林堂薬局 二俣店)
- P-140 テレフォン服薬サポート[®] および Followcare を介して受診勧奨に至った一例
高橋 一彦 (ナカジマ薬局 ひばりが丘店)
- P-142 レンパチニブとワルファリンの併用によりプロトロンビン時間国際標準比 (PT-INR) の延長をきたした透析腎細胞癌患者の1例
鳥居 昌太 (刈谷豊田総合病院 薬剤部)
- P-144 乳がん dose-dense EC 施行時にニューモシスチス肺炎を発症した3例
伊藤 弘美 (一宮市立市民病院 薬剤局)
- P-146 ダサチニブ投与中に発現した胸水貯留時にダサチニブのピーク濃度とBNP値に相関性が認められた1症例
中原 良介 (大分大学 医学部 附属病院 薬剤部)
- P-148F アベマシクリブ服用中に発現した軽微な咳嗽に薬局薬剤師が気づいたことで間質性肺炎の早期発見に繋がった1症例
國原 千穂美(スギ薬局 八幡駅前店)
- P-150 ニボルマブ療法中に両側網膜中心動脈閉塞症を発症した一例
川崎 美咲 (彩都友誼会病院 薬剤部)
- P-152F 進行・再発胃がんに対するゾルベツキシマブ投与中の悪心・嘔吐出現状況の調査
小泉 慶子 (藤田医科大学病院 医学部 薬物治療情報学)
- P-154 薬薬連携により遅発性過敏症の重症化を回避した直腸がんの1例
竹田 あかね(独立行政法人 国立病院機構 豊橋医療センター 薬剤部)

- P-156 高用量ヒドロモルフォン注からメサドンへの変更により難治性疼痛が改善した1例
天野 敬大 (春日部中央総合病院 薬剤部)
- P-158F トリプルネガティブ早期乳がんに対するペムブロリズマブ併用レジメンの有害事象状況調査
小島 卓也 (国立病院機構 水戸医療センター)
- P-160 血液透析患者のがん性疼痛に対してメサドン塩酸塩錠を投与し疼痛改善が得られた一例
富田 哲夫 (興生総合病院 薬剤部)
- P-162F AI 関連筋骨格症候群患者のAI ローテーションに関する不安を薬局薬剤師が解消し円滑に処方変更ができた一症例
國原 貴弘 (株式会社スギ薬局青竹店)
- P-164 mFOLFOX6 治療中に5-FUに起因する乳酸アシドーシスを発症したが、用量を調節しながら治療を継続している1例
風岡 真実 (国際医療福祉大学病院 薬剤部)
- P-166 BRAF 遺伝子変異陽性かつMSI-Hの大腸癌に対してPembro療法後にENCO+BINI+CET療法が著効した1例
赤井 涼子 (彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部)
- P-168 経口摂取不能な中枢神経原発リンパ腫に対して、チラブルチニブの簡易懸濁による経管投与に関わった症例
金正興 (昭和大学病院 薬剤部)
- P-170 ゴルベツキシマブの初回外来導入に向けた取り組み
小林 由佳 (山形県立新庄病院 薬剤部)

病診薬（薬業）連携・チーム医療

- P-172 がん患者を対象にした薬剤師外来の実施およびトレーシングレポート活用の有用性
小野 航太郎 (昭和大学横浜市北部病院)
- P-174 京都第二赤十字病院と保険薬局による鎮痛薬フォローアップシートを利用した外来患者への介入方法と今後の課題
加藤 良隆 (京都第二赤十字病院 薬剤部)
- P-176 保険薬局でのがん薬物治療服薬指導における情報収集の現況について
照屋 千津子 (マツモトキョシ 埼玉伊奈店)
- P-178 時短勤務者の外来化学療法室への常駐成果と課題
豊田 えり (埼玉医科大学病院 薬剤部)
- P-180 当院における「がん薬物療法体制充実加算」算定に向けた取り組みと成果
岩瀬 雅彦 (国立病院機構 埼玉病院 薬剤部)
- P-182F 当院における外来がん化学療法のトレーシングレポートの実態調査
及川 悠衣 (国立病院機構 舞鶴医療センター)
- P-184 「経口抗がん薬説明依頼書」の有用性評価
吉田 宗広 (浅ノ川総合病院 薬剤部)

- P-186F 外来がん化学療法中の副作用対策に PHR (Personal Health Record) を利用した場合の有用性に関する調査研究
櫻井 理絵 (あやめ薬局 下志津店)
- P-188F 横浜旭中央総合病院におけるがん薬物療法体制充実加算運用開始後の提案内容調査
西海 敬太 (IMS グループ 明芳会 横浜旭中央総合病院 薬剤部)
- P-190 当院の診察前面談時における処方提案の実態調査
北村 渉 (東海大学医学部付属病院 薬剤部 薬剤科)
- P-192F 当院における 薬剤管理サマリー・トレーシングレポートを用いた薬業連携～連携充実加算 算定開始に伴う現状と課題～
東 久美子 (くまもと県北病院 薬剤部)
- P-194F 当院における外来化学療法薬剤介入 (連携充実加算算定開始から) の考察
稲嶺 盛佳 (沖縄県立八重山病院)
- P-196 薬剤師外来開設とがん薬物療法体制充実加算の算定状況について～医師から薬剤師へのタスクシフト/シェア～
松本 菜摘 (JR 広島病院 薬剤部)
- P-198F 多職種での協力で実現した連携充実加算算定までの経緯と実績報告
杉山 知世 (新小山市民病院 医療技術部 薬剤部門)
- P-200 医療機関からの外来がん薬物治療に関する情報提供は専門医療機関連携薬局でのがん患者への薬学的介入に影響を及ぼすか
原田 素子 (総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店)
- P-202 対面開催の薬業連携連絡会「Polaris」における治療情報提供書の改訂に向けた取り組み
長山 佳之 (国立病院機構 東京医療センター 薬剤部)
- P-204 がん薬物療法体制充実加算の算定に向けた取り組み (第 2 報)
松浦 志保 (横浜米共済病院 薬剤部)
- P-206 薬剤師外来の開設取組から現状までの評価と今後の課題について
守山 十和子 (県立宮崎病院 薬剤部)
- P-208 がん薬物療法における薬剤師外来を活用した医薬業連携体制強化の取り組み
鈴木 敦詞 (春日井市民病院 薬剤局 薬剤科)
- P-210 当院における薬剤師外来と体制充実加算算定の現状
永田 卓也 (昭和大学江東豊洲病院 薬剤部)
- P-212 多職種によるゾルベツキシマブ投与に関する取り組みと報告
田口 諒 (静岡県立静岡がんセンター)
-
- 医薬品情報・データベース・薬歴管理 / 調剤・処方監査・リスクマネジメント
- P-214F 副作用マッピングを用いた分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬の眼障害の比較
小池 光 (帝京大学 薬学部 薬学科)

- P-216 保険薬局におけるがん患者のオンライン資格確認システムの利用に関するケースシリーズ
高橋 希 (さくら薬局 藤が丘店)
- P-218F pH-溶解度曲線に基づいた経口抗悪性腫瘍薬と酸分泌抑制薬の相互作用予測に関する研究
禹 姚朱 (帝京大学 薬学部 薬学科)
- P-220F がん薬物療法レジメンにおける医薬品価格の可視化に関する研究
玉水 雄大 (帝京大学 薬学部 臨床薬剤学)
- P-222 添付文書等におけるがん分子標的薬の周術期使用に関する注意喚起の記載状況比較
田中 雄太 (岡山大学病院 薬剤部)
- P-224 がん患者における帯状疱疹治療薬アカデミック・ディテリング～個別最適化に向けての試み～
杉山 奈津子 (国際医療福祉大学 薬学部)
- P-226 当院における閉鎖式薬物移注システム (CSTD) 拡大導入に向けた取り組み
原田 真由美 (東京都立多摩南部地域病院 薬剤科)
- P-228 当院におけるレジメンチェック体制の効率化に向けた取り組み
西原 愛実 (愛媛県立中央病院)
- P-230 抗癌剤投与量設定時の腎機能評価法に関する薬剤師の意識調査
小林 綾子 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)
- P-232 がん化学療法における B 型肝炎再活性化予防に対する当院の取り組み
武田 啓子 (済生会滋賀県病院 薬剤部)
- P-234F 当院看護師に対する抗がん剤曝露対策の意識調査に関する検討
森本 江美 (平尾病院 薬剤部)
- P-236F カルバマゼピン併用によりエベロリムスの治療効果が減弱したと考えられる一例
田辺 憲人 (クオール薬局 茂原駅前店)
- P-238 タブレット端末を利用した抗がん剤調製時のオンライン監査システムの構築と評価
神垣 輝美 (社会医療法人母恋天使病院)
- P-240 経口抗がん薬の薬剤師外来における処方提案内容の解析―副作用を介入契機とした抗がん薬投与法への専門薬剤師による介入―
村瀬 寛美 (大垣市民病院 薬剤部)
- P-242 がん薬物療法レジメン内容の鑑査支援における生成 AI 活用の検討
槇枝 大貴 (岡山大学病院 薬剤部)
- P-244 がん薬物療法時のインシデント・アクシデントに対する薬剤師の介入の重要性 (血管外漏出対応を中心に)
橋本 直美 (今村総合病院 薬剤部)
- P-246 レナリドミド及びボマリドミドの処方監査時チェックシート導入後の評価
佐竹 智規 (京都第二赤十字病院 薬剤部)
- P-248 当院における免疫チェックポイント阻害薬投与終了後の irAE、検査状況の調査
田中 昭洋 (大阪府済生会中津病院 薬剤部)

地域・在宅医療 / その他

- P-250F 外来がん治療専門薬剤師における役割と患者向け抗がん剤勉強会需要に関する調査
千葉 光太 (日本調剤 高野台薬局)
- P-252 教育的介入が薬剤師のHPV ワクチン知識と推奨意欲に与える効果：ランダム化試験
湧井 宣 (星薬科大学 実務教育研究部門)
- P-254 薬局内症例検討会がトレーシングレポートの質と量に与える影響
渡辺 富美子 (日本調剤 柏の葉公園薬局)
- P-256 P-CLEAR を用いた日常清掃による持続的な抗がん薬汚染抑制効果の評価
福岡 智宏 (小牧市民病院 薬局)
- P-258 当院における外来化学療法患者への ePRO 導入について
日下田 葵 (横浜南共済病院 薬剤科)
- P-260 閉鎖式移送システム導入薬剤拡大後の曝露調査
赤澤 珠絵 (信州上田医療センター 薬剤部)
- P-262 JCHO 群馬中央病院におけるがん薬物療法体制充実加算算定の現状について
千吉良 幸子 (JCHO 群馬中央病院 薬剤部)
- P-264F 地域住民を対象としたがんサポーター養成講座によるがんの知識の変化
滋野 彩夏 (摂南大学 薬学部 臨床薬理学研究室)
- P-266 完全一体型輸液セット アンティリーク[®] 使用時における曝露リスクの評価
小澤 勇人 (水戸赤十字病院 薬剤部)
- P-268 当院における閉鎖式薬物移送システム (CSTD) 導入後の曝露調査について
多田 純平 (国立病院機構 舞鶴医療センター 薬剤部)

がん診療病院連携研修報告

- P-270 大阪南医療センターにおけるがん診療病院連携研修体制について
築瀬 真利 (独立行政法人大阪南医療センター)
- P-272 がん診療病院連携研修前後の自身の变化
田崎 史弥 (調剤薬局 ツルハドラッグ 郡山駅東店)
- P-274F JA 尾道総合病院におけるがん診療病院連携研修報告と研修終了後の連携の実際
川原 邦仁 (尾道総合病院 薬剤科)
- P-276 がん診療病院連携研修を通じた薬局役割強化と知識や介入技術の向上
高橋 翔太 (佐伯調剤薬局)
- P-278 がん診療病院連携研修で介入した一症例
大谷 拓輝 (望星薬局 本局)
- P-280 横浜医療センターがん診療病院連携研修報告と薬局業務での活用
草野 敦司 (クオール薬局港北店)